

助成金についての勉強会を開催しました！！

淡海ネットワークセンターでは、資金獲得についての勉強会を2015年度から実施しています。

2019年度は、「助成金の考え方」と「申請書の書き方」の2回に分けて長浜市・東近江市・甲賀市・大津市の4か所で開催し、合計27団体の参加がありました。また個別相談が8団体参加されました。



こんな話を
しましたよ

市民活動団体さんには、様々な資金調達方法(会費・寄付・事業収入・助成金・委託金など)があり、それぞれにあわせた用途があります。

その中でも、助成金は、**チャレンジ**に使えるお金です。つまり「獲得」ではなくどのように「活用」するか、という考えから始めることが大切です。

申請書を書く前に、**何のために(目的)**、**何に(課題)**、**どう取り組むか(計画)**、そして**何が変わる(成果)**を把握していますか？申請書を書かなくても、事業をされるときは、このことを今一度団体さんの間で共有しておくことが大切です。

さらに、その事業を遂行することで実現したいことは何なのか？また地域や社会への波及効果はどういう風にあるのか？「だからこの事業をしたいんです！」というようなストーリー性があると、申請書を読む側にもイメージがしやすいです。

そのために、こんな事業計画を立てていて、この事業計画を遂行するためには、〇〇万円必要なんです！（※予算書は事業計画書としっかり連携させることがポイントです）と書いてあるとわかりやすいですね。



活動をしていたらいろんな大変なこともでてくると思います。しかし、これからの NPO の役割として、「それぞれの役割をつくり、みんながヒーローになれる場所」「自由と楽しさで自己実現の欲求を満たしていく場所」「人と社会をつなげていく場所」と言われています。ぜひ、わくわくしながら助成金申請書を書いてもらえたらうれしいです。

助成金説明会(未来ファンドおうみ)でよくある Q & A

Q1. 法人格を持っていなくても申請できますか？	A1. NPO 法人またはそれに準ずる団体さんでしたら可能です。 (※準ずると団体とは、定款、規約、会則等を持ち、組織として意思決定ができるもの)
Q2. 他助成金との複数申請はできますか？	A2. できます。ただし、双方に助成事業のすみ分けを確認してください。
Q3. どの基金に申し込めばいいですか？	A3. 当センターにご相談ください。各基金の助成対象事業と申請事業の整合性は重要です。
Q4. 採択された場合、助成金は、いつもらえますか？	A4. 申請のあった団体のみ当該年度5月末に助成金額の8割をお支払いします。残りの2割は、実績報告の後、確認をしてからのお支払いになります。
Q5. 団体スタッフへの謝金を助成金から払うことはできますか？	A5. できます。ただし、助成対象事業に対してのみです。金額設定については、団体さんの全体予算とのバランスで設定してください。
Q6. 補助率は？	A6. 10割補助です。
Q7. 助成期間はいつからいつまでですか？	A7. 当該年度4月1日～3月31日までです。
Q8. 複数基金に応募することはできますか？	A8. できます。ただし同じ事業で複数基金への申請は、訴求性が弱くなります。



未来ファンドおうみは、“地域のために何かしたい”という想いを寄付としてお受けし、その想いを基金という形にし、その基金をもとに地域の課題解決に取り組む NPO や市民活動団体を支援しています。今年度も未来ファンドに想いを託して下さった企業様、個人様の貴重な浄財で運営をさせていただいております。

寄付をしていただいた皆様には、深く御礼を申し上げます。

2019年度 助成団体の活動

げんさん食育 NPO 基金 特定非営利活動法人あめんど

採択事業は、「僕らが主役の課外授業 ～食品ロスから学ぶ社会～」です。当法人は、コミュニケーションが苦手であったり、学校生活で配慮を必要とする子ども達が安心して過ごせる場を提供しています。彼らの多くは集団の中で緊張し、消極的になり、活動の流れについて行けず、学習によって得る利益を損なっています。そんな子ども達が積極的に学習に取り組めるプログラムが「僕らが主役の課外授業」です。



今回は「食品ロスから学ぶ社会」をテーマに、一年間を通じて数名の小学生たちと研究を行いました。この活動は、形や色が理由で規格外となる無農薬有機栽培大豆を有効利用しながら、食品ロスについて学ぼうとするものです。小学生の子ども達は、大豆の選別、試作、加工、販売を行い、商品作りのプロセスを実感できました。また、食品ロスについて学習会、



大豆農家の見学、畑作業の体験なども行いました。参加者である子ども達の年齢や特性は様々ですが、各自において達成感を得られた様子で、それぞれに成長がみられました。3月21日土曜日には、子ども達が自らデザインした商品を、生鮮館げんさん堅田店にて店頭販売させていただきます。ドキドキの子ども達を応援して下さい。

笑顔あふれるコープしが基金 フードバンクびわ湖

採択事業は、「フードバンクびわ湖 SDGs 推進プロジェクト『もったいないを笑顔と絆に』」です。本事業では、誰もが利用出来るフードバンクをめざして、企業や農家・家庭で余った食品などの寄付を受けて、生活に困窮する人など支援を必要とする人たちに、物資を届けるための「フードドライブ」を中心に活動を行っています。



昨年10月の「食品ロス削減月間」に先がけて、県庁内で「フードドライブ」を試行したところ、職員さんからは340点、107キロの食品が寄せられ、三日月知事からも食品と目録を受けました。今後も県内全域で支援が必要な



人に必要な物資などを届けるため、また行政や社会福祉協議会とのさらなる連携をすすめ、多くの人にこの存在を知っていただきながら、この支援の輪を広げていけるように精力的に活動を継続させていただきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

2019年度 助成団体の活動

びわ湖の日基金 滋賀大学「環境学習支援士」会

採択事業は、「未来のびわ湖人育成のための学習支援事業」です。当会では、びわ湖の歴史やその変化と未来の問題を考えるプログラムの提供をしています。その概要は、県内の小学校 5 年生を対象にして、びわ湖フローティングスクールの乗船前・乗船後（予習・復習）の出前授業と、小学校 1 年～4 年生の一般の親子を対象とする体験学習「身近な川の体験」を実施しています。



出前授業では、1 限目に今のびわ湖の良いところ、問題のあるところを明らかにし、2 限目では、グループに分かれて 10 年後のびわ湖に向けて、残しておきたい良いところをどうやって残していくのか、などを自分たちで考え、発表しています。このように事前にびわ湖についての学習を深めておくこと、また事後にそのことを復習することで、フローティングスクールがより実りのあるものになると考えています。



また体験学習では、川が近くにあってもなかなか触れることができない小さな生き物に出会ったり、水質も学べたりと、親子で貴重な体験ができた、と保護者から高い評価をもらっています。

びわこ市民活動応援基金 A 八幡山の景観を良くする会

採択事業名は、「市民や子供達が親しめる安全で明るい里山環境の創出、八幡山の整備活動の継続」事業です。かつての美しい里山を取り戻し、市民や子どもたちが親しめる明るく安全な環境にすることを目的として活動しています。



2005 年 4 月に八幡山の整備活動に着手して以来、主に定年退職者の人たちに声掛けを行い、参加者みなさんの生きがいの場として、仲間づくりの語らいの場として頂いておりますが、そのことが健康寿命を延ばすことにも寄与しています。また親子タケノコ掘り大会や八幡山縦走ハイキング会など、親子で参加できるような企画もしており、市民との交流の場となっています。八幡山の整備活動は、「まちづくり」の一環を担っているとの思いから、近江八幡のブランド向上の一助となり、市民や子どもたちにも少なからず良い影響を与えていくことを期待しながら、日々活動をしています。



お問い合わせ先 淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海 2 F）
TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442
E-mail:office@ohmi-net.com

